

## Japanese Language

### Japanese Language 2

(留(留))

Kaori Endo · PART-TIME LECTURER / INTERNATIONAL CENTER

1 unit 後期 月 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本語(1)』)

**Target)** 大学生として生活していく上で、必要な日本語力を身につけ、大学で様々な場面に対応できることを目指す。例えば、実際の講義やゼミでの演習などを想定し、「読む」「聞く」「書く」「話す」の 4 技能すべてにおいてレベルアップすることを目的とする。またその獲得した能力を応用し、実際の場面で生かせるようにする。さらにその過程で、自らの日本語力で不足している技能を見極め、それを伸ばす意欲を高める。

**Outline)** テキストを中心に各課のテーマに沿って進めていく。内容は課ごとに異なるが、「読む」「聞く」「書く」「話す」のそれぞれの技能を伸ばし、さらにより適切な表現を身に付けるためのタスクを行う。また、テキストで学んだ知識を活用できるように実践的な活動も取り入れる。

**Keyword)** 総合的な日本語(「読む」「聞く」「書く」「話す」の 4 技能)、運用力、コミュニケーション能力

**Relational Lecture)** “[Japanese Language/Japanese Language 4](#)”(0.5), “[Japanese Language/Japanese Language 6](#)”(0.5), “[Japanese Language/Japanese Language 8](#)”(0.5), “[Japanese Culture/Japanese Culture 2](#)”(0.5), “[Japanese Culture /Japanese Culture 4](#)”(0.5)

#### Goal)

1. 大学生活に必要な日本語力を身につける。
2. 大学で想定される様々なコミュニケーション場面で、身につけた日本語力を用いて、適切に対応することができる。
3. 自分に必要な日本語力を知り、学習方法が獲得できる。

#### Schedule)

1. オリエンテーション, レディネス (これまでの学習)・ニーズ (これからの学習希望) 調査
2. 第 7 課:人前で自己紹介を含めたあいさつをする。
3. 第 7 課:人前で自己紹介を含めたあいさつをする。
4. 第 7 課:自分のエピソードを述べる。
5. 第 7 課:自分のエピソードを述べる。
6. 第 8・9 課:発表用のレジユメを作成する。
7. 第 8・9 課:発表用のレジユメを作成する。

8. 第 12 課:スピーチの準備をし、発表する。
9. 第 12 課:スピーチの準備をし、発表する。
10. 第 12 課:スピーチの準備をし、発表する。
11. 第 12 課:スピーチの準備をし、発表する。
12. 第 13 課:討論の準備をし、発表する。
13. 第 13 課:討論の準備をし、発表する。
14. 第 13 課:討論の準備をし、発表する。
15. 第 13 課:討論の準備をし、発表する。
16. レポート・発表などのフィードバック

**Textbook)** 佐々木瑞枝他著 『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』 (The Japan Times)2001 年 2,500 円

**Evaluation Criteria)** レポート, 発表, 授業中の小テスト, 授業への取り組み状況などをもとに, 総合的に評価する。

**Re-evaluation)** 無

**Message)** 日本で充実した大学生活を送るために、必要な日本語力を身につけましょう。実践的な活動も取り入れるので、積極的な授業への取り組みが必要とされます。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221279>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Endo (+81-88-656-7491, [7kao-beeguru@kmd.biglobe.ne.jp](mailto:7kao-beeguru@kmd.biglobe.ne.jp)) MAIL

**Note)** 緊急時の連絡先:大石 (地域・国際交流プラザ内 国際センター, 088-656-9875)